

# 2020(R2)年度 学 校 評 価

学校法人信濃キリスト教学園  
幼保連携型認定こども園  
大町幼稚園

当幼稚園のホームページにて同学校評価を公表しています。HP アドレスは次の通りです。

<http://www.omachi-yochien.com>

## 1 教育方針・教育目標の理解

### ◆2020年度の取り組み

- 教育方針（いつくしみの保育）と教育目標（元気な体・優しい心・考える力）の理解を深め、保育内容に活かす。
- 幼稚園はキリスト教保育を基盤とした教育方針を、分かりやすく伝えているか。  
保護者アンケート（Q1）

### ◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 2.7 ）

- 教育方針・目標について、何度か職員間で確認することもあり、昨年よりも考えることができた。
- 個性ある子どもたち一人ひとりを見つめ、寄り添った。年長という多感な子どもたちに安心できる場所であることを目指した。
- 年少の担任だったこともあり、子どもたちが安心して園生活を送ることができるよう、例年以上にいつくしみの精神で保育ができた。
- クラス目標を「いろいろなことに挑戦しよう（元気な体）」「自分の気持ちを言葉で伝えよう（優しい心）」「自分のことは自分でやってみよう（考える力）」を設定し、日々の保育に取り組んだ。
- コロナ対策で研修がリモートになり、日頃参加できない研修を受けることができ理解を深めることができた。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.8 ）

- キリスト教を通して感謝の気持ちを口にするようになってきたと感じる。
- 生活の一部になっています。
- キリスト教保育を通して、人を大切にすること、自分の生まれてきたすばらしさを少しずつ感じている。親として見守りたい。
- 幼児教育という言葉が幼稚園でお世話になっている間はピンと来なかったが、小学校に入学し学年が進むにつれて、幼児期の幼児教育と保育の差を実感する場面がたびたびあります。そういう時に大町幼稚園でお世話になったことが本当ありがたく感じています。
- このご時世の中、子どもの為に何が出来るか保護者への説明も頑張っており、ありがたい。子どもが幼稚園に行けて感謝です。
- 年少から三年間、幼稚園で過ごしましたが、どの先生も子どもの様子を伝えていただき良かった。大町幼稚園がとてもよかったので、できれば下の子もお世話になりたいです。
- コロナの中「子どもたちの思い出会・卒園式」を計画して下さりありがたい。毎朝笑顔で迎えてくださる先生方のおかげで楽しく通っています。先生方もお体を大切にしてください。
- **今年度は仕方がなかったが、園の方針と行事が少しわかりにくかった。**

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.4 )

・新型コロナウイルス感染予防の為に行事等制約がある中、教職員の子どもたちのために真摯に付き合う姿があった。

・この一年は新型コロナウイルスの影響で、今まで当たり前にした事ができなくなりたくさんのご苦労があったでしょう。今まで通り又、それ以上を目指すことができず、大人も子どももたくさん我慢しましたね。その中で大切なものは何でしょう。

人間の知恵を超えた神さまの愛と知恵それらはいつも示されているのに、愚かな私たちは気づけずに、己が知恵と努力で何とかしようとしています。ありのままを受け入れ、優しい気持ちで穏やかな生活が送れますよう祈っています。

同じ言葉でも受け入れ方・理解の仕方は違いがあります。保護者の方のご理解も、先生方の感性もお互いの存在が幼稚園を支えていますね。

すべて神さまに良しとされますように、祈っています。

.....>.....>.....>

#### ◆改善の具体的方策

##### 新型コロナウイルス感染防止の為に、行事にブレが起きた件

新型コロナウイルス感染防止の為に自主休園をお願いしながらのスタートだった。5月からは新園舎へ移動した。思うように行事が行えない中、園児の日々の生活が行事に繋がっていることを痛感した。

充実した園内研修を行うことができ、教師が教育方針、教育目標の理解を深めることができた反面、園と保護者との距離が開いてしまい、信頼関係が崩れてしまったことが残念だった。

次年度は保護者との信頼関係に重点を置き、園の方針をしっかりと伝えていきたい。

## 2 キリスト教保育

### ◆2020年度の取り組み

A 教師自身見えないものに目を注ぎ、「あたたかなまなざし」で子どもを受け入れる  
キリスト教保育の学びを深める。

B 日々の礼拝やキリスト教の行事を通して、大切な人間関係の基礎を育てることを目指す。

### ◆評価と分析

#### A (教師の評価 4点満点中 平均点 2.8 )

- ・毎週の会議の聖書の学びと毎朝の朝礼のお祈りから、キリスト教保育について少しずつ知ることができたと思うし、心に響く言葉もあった。次年度も引き続き学びたい。
- ・日々の教師のお祈りの中に、今ここにいない方への感謝の気持ちを伝えたり、聖書の話から普段の生活につなげ伝えることができた。遊びの中に「アーメン」とつぶやく姿があった。
- ・数少ない研修だったが、キリスト教保育子どもたちへの心の向け方を確認し、学んだことを保育に活かせる機会があった。
- ・多くの教職員の心の中に「子どもへの愛」があると感じている。さらに学ぶ機会を生かし、具体的に「あたたかなまなざし」を考えてゆきたい。
- ・キリスト教に接するのは初めてだったが、日曜礼拝・職員会議・合同礼拝を通してありのままの子どもを受け止めることの大切さを学んだ。しかし、実際できるか不安がある。
- ・集団生活で守るべきルールを思い、子どもの思いや気持ちを考えるより自分の願いが勝っていたと反省する。
- ・職員会で毎週お話を聞くが自分自身で学びを深めることがなかなかできなかった。

#### B (教師の評価 4点満点中 平均点 3.1 )

- ・ありがとう・ごめんなさい・どうぞ・だいじょうぶ?を保育者が進んで伝え、年少児でもわかるようにいろいろな場面において大切にした。
- ・日々の礼拝で紙芝居やペープサートなどを用い伝えることを通して、友だちや家族、給食の先生に感謝の気持ちを持ち「ありがとう」のお祈りができるようになった。
- ・幅広い考え方をされるコロナの対策の中、キリスト教保育の大きな柱「愛」を通して、ご家庭の不安に寄り添う事を目指した。正しい判断がわかりにくいコロナだからこそ聖書から学ぶことができ、ありがたかった。
- ・礼拝の奏楽を通して、「気持ち良い」、「明るいな」、「なんか寂しいな」など聞いた時の感じ方、もっと聞きたいと思える気持ちを育てたい。

・ひよこ組も合同礼拝やクリスマス会を経験し神さまの存在を少しずつ知る体験ができた。  
しかし、人間関係の基礎には至らなかった。

(保護者の評価 評価対象なし)

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 2.8 )

- ・キリスト教の研修は良かった
- ・合同礼拝の先生たちのお話が増えると先生方の学びになるので増やしてほしい。
- ・大町教会のお礼拝（教会学校でもいいから）に月1・2回は出てほしい。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

### 3 少人数保育

#### ◆2020年度の取り組み

- A. 教師相互間の連携を密にし、協力体制を築きチーム保育をする。
- B. あたたかなまなざしの保育を通して、子どもたちは、安心感を抱き、愛されていることを感じている。
- C. 幼稚園は教師との信頼関係を通して安心して生活できる環境づくりをしていると思いませんか？（保護者アンケートQ2）

#### ◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.0 B 3.0 ）

A

- ・各クラスの状況や、連絡事項が主任に報告されていると感じる。また、治療の為不在のこともある園長にすべて報告するよう努力している。
- ・療育関係もクラスで話し合ったうえ、主任へ相談報告し、協力体制が取れた。
- ・担任と副担任と常に子どもたちの姿、様子を話し合い、保育をチームで行い目の届かないところ、気が付かないところなど子どものフォローに努めた。

B

- ・心の中では応援しつつ、保育教諭と一対一の関わりばかりにならないように配慮した。（加配）
- ・いつも笑顔を中心掛ける一人ひとりの様子に目を向けて変化に気付くようにし、個々を大切に保育するように心がけた。
- ・不安の中の一年だったが、流れを繰り返し安心できる一日の流れを作った。
- ・子どもが安心して過ごすことのできる環境作り、言葉がけを毎日心掛けた。
- ・よく怒られる子どもに対し、怒られないように工夫をすることで、安心して園生活を楽しんでほしい。

（保護者の評価 C 4点満点中 平均点 3.8 ）

C

- ・日々の情報交換と送り迎えの際の対応に信頼できる。
- ・こどもの家の様子から、先生方のあたたかさや細やかに対応して下さっていると日々感謝です。
- ・入園が遅く心配していましたが、先生方が細やかに対応して下さりスムーズに園に慣れることができました。

・ほし組さんの途中からハンカチに移行した件は、本当に小学校に向けいいと思うので是非続けてほしい。

・今年度に限り疑問や矛盾点がややありました。

・クラスとしては安心して過ごすことができたが、園としての方針と違うことがあり一貫性を持ってほしいと思った。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.4 )

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

○ 教師と保護者が会話する場を大切にする。クラスだより、連絡ノートなどでお知らせを細やかにする。総会では園長から園の方針をしっかり伝えるようにする。

## 4 戸外遊びの充実

### ◆2020年度の取り組み

A・戸外で友だちと思いっきり身体を動かして遊ぶことを通して元気で丈夫な体作りをする。

(保護者アンケートQ3)

B・楽しく充実した遊びを通して、一人ひとりの園児が主体的に活動し、創造力を養い、自分で判断

したり、行動したりすることができるように育てる。

### ◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.9 B 2.6 )

A

- ・コロナ対策で自主休園の為、交通安全教室の実施が遅れ、また猛暑と雨の為、園外に出ることが減った。しかしできる限り外に出て遊ぶ機会を作ったと思う。
- ・行事前以外は子どもたちと一緒に、自然、季節の変化を感じ気持ちを伝えあいながら戸外での活動、散歩、など楽しめた。また、保育者が動き子どもたちも体を動かす活動に興味を持てるように心がけた。
- ・散歩に出かけたり、毎日外で遊ぶことを沢山取り入れ大切に、3学期には園児が歩くことを楽しむ姿があった。
- ・園の周りの遊べる環境利用できる環境をもっと研究したい。
- ・交通安全教室が延期されたこともあり、散歩等で体作りすることが難しかった。園庭でもごっこ遊びや砂場遊びがメインだった為、思いっきり体を動かすことが難しかった。

B

- ・砂場遊びなどで一つのヤマ作りから、トンネル、川、ダムなど発展していくように促したり、子ども達の声に耳を傾ける。子どもが主体的に動いて、遊べるよう見守りときには手伝いやりたいこと・やりたかったことが達成できたことを一緒に喜ぶことができた。
- ・グラウンドと園庭があるため、子どもの様子や昨日の遊びの続きを考えて思いっきり遊べた。また、遊び込む中に異年齢の関わりも絡み、一段と主体的活動につながると感じた。
- ・子どもたちのつぶやきから、ほし組祭り、映画館、畑作りなど実現し、そこまでの過程を子どもたちと積み上げた。
- ・好きな遊びを遊び込むことを大切にしたが、もっと子どもを理解し、もう少し主体性を追求できたのではないかと思う。
- ・特定の子どもの遊びに目が向きがちになり、一人一人の楽しむ遊びに意識が向かない



ことがあった。

(保護者の評価 A 4点満点中 平均点 )

- 外遊びが好きになりました。
- 行事や天気により散歩に行けない時期があったと思うがぜひ積極的に行ってほしい。
- コロナもありあまり散歩や外の活動が少なく感じた。来年はもう少し増えるといいな。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.2 )

- コロナウィルス感染予防のため、夕涼み会などできなくて残念だった。

.....>.....>.....>

#### ◆改善の具体的方策

#### お散歩と外で遊びこむ時間について

次年度は一層、外での遊び込む時間を大切にしていきます。お散歩も慎重にかつ楽しく安心して行けるよう下見等含め事前準備をしっかりと行い、どんどん出かけて行きたいと考えます。

## 5 表現あそび

### ◆2020年度の取り組み

A・感じたことや考えたことを表現する豊かな感性を育む。

B・歌やリズム表現・製作活動などを通して、自分らしくのびのびと表現したり、友だちと合わ

せたりする喜びを味わえる環境作りをする。

C・幼稚園では歌やリズム表現・製作活動などを通して、子どもたちがのびのびと表現を楽しむ環境作りをしているか。(保護者アンケートQ4)

### ◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 A 2.9 B 2.9 )

A

・一緒に表現する、一緒に楽しむことでもっとやりたい、もっと〇〇したいという気持ちを伸ばすように育てていくように心がけた。

・遊びの中で、なんで、どうしてと思ったこと感じたことを素直に言ったあり一緒に考えたり

できた。

・子どもたちと、できた喜び、チャレンジする難しさ、楽しさを共有できた。

・表現遊び(行事)は音源に合わせた表現が主だったが、それぞれの子どもの良さを伸ばせるよう援助した。表現が好きな子苦手な子それぞれの気持ちを大切に組み込んだ。褒めることを大切にした。

・楽器の遊びがあまりできなかった

B

・子どもたちに合わせた曲や製作もこんなところを伸ばしてあげたいとか、こんな経験をさせてあげたいとか、これだったら面白いとか加配の園児の様子を加えて内容の話し合いを重ね、子どもたちが楽しめる活動をたくさん取り入れることができたと思う。

(加配)

・顔を描く時、人間らしい顔を描いてほしいという気持ちではなく、子どもが表現したいものを見守ることができた。

・グループで取り組む活動を多くすることで、イメージを共有し自分と友だちのアイデアを融合する楽しさを味わえるようにした。

・年齢にあった製作をもっとさせてあげたかった。

・発表があるからと楽器をするのではなくもう少し楽器を自由に触らせた方が

いいかな?(劇も)

(保護者の評価 C 4点満点中 平均点 3.9 )

C

・家で歌ったりダンスしたりと表現してくれます。できないことにもどんどんチャレンジしてほしい。

・**工作をまとめて持ち帰りせず、その都度持ち帰ると会話ができてうれしい。**

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3 )

運動会クリスマス会思い出会等子どもたちの頑張りや成長が見られた。

.....>.....>.....>

◆改善の具体的方策

製作物の持ち帰りについて

「持ち帰ること」に対するねらいを確認した上、対応したい。決まり次第クラスだよりにてお知らせします。

## 6 安全教育

### ◆2020年度の取り組み

- ・避難訓練、交通安全指導、健康安全指導を通して安全に対応する意識を高める。
- ・幼稚園は避難訓練や交通安全指導等を計画的に実施して、子どもの安全に対する意識を高めていると思いますか。（保護者アンケートQ5）

### ◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.1 ）

- ・自分を守るということは繰り返し伝えてきた。同じことを何度も伝えることで身についたことがあったので良かった。（歩き方、手洗い、避難訓練など）
- ・個々の就寝時間を把握するため、声掛けし生活リズムを整えるきっかけを作ることに努めた。
- ・散歩時晴れの日だけではなく、雨の日も外に出ることで傘の使い方も伝えられた。
- ・感染症の予防としてこまめな手洗い、水分補給を意識し、水道も常に清潔であるよう掃除を積極的に行った。
- ・健康安全指導を具体的に保護者へ伝えていきたい。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.9 ）

- ・子どもから教えてもらうほど幼稚園で交通ルールを学べていると思う。
- ・毎月テーマごとに訓練があり、ルールの指導ありがたい。引き続き継続をお願いします。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.5）

.....>.....>.....>

### ◆改善の具体的方策

## 7 食育

### ◆2020年度の取り組み

- A・食事のマナーを通して、左右の優位性、指先の発達、姿勢の保持など体の健全育成を図る。
- B・感謝する心・畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち、感謝する心を育てていると思いますか。
- C・幼稚園は栄養バランスやカロリーを計算した自園給食を通して、何でも喜んで食べる子どもを育てていると思いますか。（保護者アンケートQ6）
- D・幼稚園は畑での栽培や収穫や調理員との関わりを通して、食に対する関心を持ち感謝する心をそだてていると思いますか。（保護者アンケートQ7）

### ◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 A 3.1 B 3.1 ）

A

- ・食器を持つ、よい姿勢で食べる、ひじをつかないなど食事のマナーを意識できるよう声がけした。
- ・姿勢が保持できない園児に対して、椅子のサイズを調整したり踏み台を用意した。
- ・食事の声掛けは、よく行ったが家庭に伝える機会がもっとあればよいと感じた。
- ・コロナ対策で給食時にパーティションを立てテーブルが狭くなるが、子どもには自分の中心が  
分かりやすくなった。
- ・楽しい食事を優先したので、箸の持ち方、姿勢など課題の残っているところもある。  
（加配）

B

- ・各クラスで育てた野菜を調理し、給食で提供した。普段は捨てる葉の部分なども提供し、育てる事、収穫する喜びや感謝を育めたように感じた。（給食室）
- ・多くの制限のある中、野菜の生長を観察し収穫を喜び、みんなで給食の先生の所へ持って行き給食のメニューに入れてもらい食べる喜びを味わった。畑は豊作、キアゲハも3羽も孵ったのは子どもたちも、畑が蝶の家となったことは誇らしげであった。すべての野菜がお楽しみ保育に繋がっていた
- ・コロナ対策の為、調理はできなかったが収穫したものをそのまま食べたことで、苦手な子も食べられるようになった。また、収穫できることをとても喜ぶ姿があった。
- ・今年度は給食の先生と一緒に食事をする事ができず、子どもたちの様子を言葉や書面でしか伝えることができず残念だった。食前のお祈りで給食の先生方への感謝、食べ物への感謝を意図的に増やした。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 C 3.9 B 3.9 )

C

- 家では食べない食材やメニューも食べているようです
- HP にて毎日の献立が記載されているのでバランスが取れていて、日々の栄養状態が分かりやすい。
- 毎日の給食を楽しみにしています、私もうれしくなります。
- 給食の献立表を、毎朝確認するが子どもの楽しみでした。漢字にフリガナをふってもらえる子どもが自分で確認出来てありがたい。

D

- 自分で栽培した野菜を調理していただき食べられるものが増えました。
- 野菜の栽培を通して興味を持って食事することができた。
- 園児たちで栽培収穫した野菜でクッキングしたことが思い出に強く残っているようで、ぜひ機会を設けてほしい。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.8 )

給食室の職員の皆様へ。お疲れ様でした。いつも子どもたちのために美味しい給食をありがとうございます。

.....>.....>.....>

#### ◆改善の具体的

クッキングについて

大町市教育委員会の「1.12 大町市学校運営ガイドラインver2.1」に、感染予防の観点からクッキングは配慮すべき項目になっています。しかし、子どもたちに体験してもらえるよう、試行錯誤してまいります。

## 8 家庭との連携

### ◆2020年度の取り組み

・クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだより等で知らせ理解を得る。

- ・幼稚園はクラスや子どもの様子や保育のポイントなどを日々の会話やクラスだより、電話、ホームページ等で分かりやすく知らせていると思いますか。

(保護者アンケートQ8)

### ◆評価と分析

(教師の評価 4点満点中 平均点 2.5 )

・未満は、毎日園での様子を直接伝えられたのはよかった。保護者の方の表情やお話からおうちの様子やなやみを感じることができた。

・クラスの様子連絡帳に記入したり、クラスだよりに載せた。朝の受け入れができなかった  
ので、直接お話する機会が少ない保護者がいた。

・お迎えの時間に丁寧にその日の話や伝えたいことなどお話したが、お話できない保護者の方もいて難しかった。

・学期の始まりが揃わなかった分、保護者の方の不安が大きかった。家庭訪問等なかったため、もう少し連絡を取り合うことが必要だった。

・できるだけ多くの保護者の方に様子を伝えられるよう心掛けていたが、延長保育を利用するご家庭への様子の共有が不十分になってしまった。連絡ノートを使いながら伝えるべきだった。

・ホームページのこまめな更新を行い、コロナ対策の為誕生会に出席できなかった年長の保護者へ、誕生日会の映像の送信を積極的に行った。どのようにしたらもっと良くなるのか？保護者の方の反応を確認する方法がなく作成する上で悩ましかった。

・保護者との会話を大切にしたいと感じています、朝の受け入れもやり方を検討必要と感じる。

・保護者の方の質問で自分が分からない場合すぐ主任に相談するようにしたい。

(保護者の評価 4点満点中 平均点 3.6 )

・丁寧すぎるほどです。家庭では学べないことを学べて、保護者にもしっかり伝わりました。

・巡回の日程もひかりの子だよりに載せてほしい。

・HPにて日々の出来事が把握できる。週一のおたよりで子どもの様子が分かる。

- 連絡帳やおたよりで様子が分かりました。コロナで今までのように、運営ができず大変と思いますが目的を共有してもらい安心しました。
- 様子を教えてもらって安心して送り出せました。
- いつも安心して送り出すことができ、心から感謝しています。
- お預かり保育でお迎えの時担任に会う機会がないので連絡帳も利用してほしい。
- 降園時に担任と話がしたいです。
- 行事が少なかったため、友人関係や様子をみる機会が少なかった分、もう少し詳しく伝えてほしかった。連絡帳も利用してほしい。
- 参観日や行事の日程を一か月前までには知らせてほしい。
- お迎えの際、先生方から「●●ちゃんさよなら」の声掛けが聞けず寂しかった。
- 行事のお手紙がまとまるとありがたい。
- もし可能ならこっそり参観したいです。
- 冬体操着は寒そうなので抵抗があります、長袖長ズボン等用意して頂けると納得できます。
- コロナの対応で、可能ならば発表会を2人参加できると嬉しいです。一人の場合でも、可能ならば縁側で動画をとり限定配信していただくと嬉しいです。

(学校関係者の評価 4点満点中 平均点 2.8 )

.....>.....>.....>

#### ◆改善の具体的方策

##### 担任との連絡手段について

新園舎の玄関での受け入れについて、多くの意見をいただきました。次年度は各クラス担任が朝の受け入れを対応。また、なるべくお預かりのお迎えの時間にも担任が立ち会えるよう努力してまいります。

お迎えの際、お話できなかった保護者の皆さまは、ぜひ積極的に声をお掛け下さい。担任からもお伝えしたい点がある場合やあまりお話できていない保護者の方には、電話での連絡を入れさせていただきます。また、連絡ノートも活用し保護者の皆さまと対話してまいります。

##### 巡回相談について

ひかりの子だよりでお知らせします

##### ホームページについて

今年度、参観日も2学期からとなり、ホームページ上でできるだけお子さまの様子をお伝えしてきました。

給食室でも、給食参観がなく保護者の方と話せないことを問題に感じていましたが、ホームページを見ていただくことで保護者の方々となつなげることができるということを強く感じました。これからもぜひホームページをご覧ください。



**行事のおたよりについて**

一か月前にはお知らせできるように対応します。

また、クリスマス会など何回か分かれてのおたよりも調整し、2回程度になるよう検討します。

**行事の参加人数について**

新型コロナウイルスの変異株も広がりを見せています。今年度は一人の可能性がります。

**思い出会・クリスマス会の動画配信について**

検討します。

**運動着について**

ご心配おかけしました。運動着は持ってきていただき寒くない日は園にて着替えますのでよろしくお願ひします。

## 9 子育ての支援

### ◆2020年度の取り組み

- ・未就園児への園開放や預かり保育などを通して子育ての支援をする。
- ・幼稚園は子育ての支援をしていると思いますか？（お預かり保育、夏のお預かり、未就園児の園開放、子育て支援）（保護者アンケートQ9）

### ◆評価と分析

（教師の評価 4点満点中 平均点 3.0 ）

- ・土曜保育でも様々な話を聞くことができました。直接的な支援にはつながりませんでしたが、担任と共有できゆっくり話すことができたと感じた。
- ・連絡帳などでの相談を聞く機会があったり、必要な方には個別の相談に応じた。
- ・相談を受け面談する場合、また、園外の施設との会議など事前に園長と相談し、又終了後も必ず園長に報告し園全体で共有するようにした。

- ・コロナでこひつじ広場が減ってしまい残念だったし、例年以上に来入园児が分からない。
- ・来園者に検温をするようになり、今まで自由に遊んでいた園庭開放に職員が付くようになり、行事とのやりくりが大変だった。

（保護者の評価 4点満点中 平均点 3.6）

- ・大変助かりました。とても手厚くしていただきました。
- ・仕事をしているのでお預かりはとても助かります。
- ・吃音や態度など心配なことが相談でき先生方の連携も感じありがたい。

（学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.0）

- ・園庭開放とこひつじ広場がコロナの影響が出てしまった。

.....>.....>.....>

### ◆改善の具体的方策

## 10 幼稚園運営

### ◆2020年度の取り組み

- A・日々の保育記録・教材準備・連絡帳の記入・環境整備・事務などの効率化を図る。
- B・年間計画・月案・週案・日案等を通して、計画的に保育に当たる。

### ◆評価と分析

#### A（教師の評価 4点満点中 平均点 2.6 ）

- ・例年使っていた保育記録を子どもの様子から次の活動につなげやすい記入の仕方に変更した。
- ・個人記録をとっていたため、主任と共有でき話し合いにもつなげやすかった。
- ・新園舎でもあるので掃除にも力を入れて全体を見るようにした。
- ・仕事量が多く残業して帰る事がおおかった。教材準備などクラスの先生間で共有し効率よくしたい。
- ・昨年に比べ、事前準備や園庭の整備に力を入れ過ぎた。子どもの靴箱の掃除など手が回っていない仕事もあるので、みんなで協力しながら整備したい。
- ・未滿は毎日の様子を連絡ノートで詳しく伝えられることができありがたかった。
- ・保育記録をためてしまうことが多かった。

#### B（教師の評価 4点満点中 平均点 2.9 ）

- ・畑の計画を給食室も一緒に協力して立てられたらと思う。（給食）
- ・週案を参考に計画的に保育を行うことができた。
- ・例年通りではない日々だったが、その分子どもと考え、自由に保育活動を広げることができた。
- ・週案・日誌はためることなく記入したが、翌日のねらいや活動にもっと活かしていきたい。
- ・子どもの様子に応じ当日に変更可能なように計画書を作成し提出した。
- ・先の読めないコロナ感染状況の為、園長と事前に打ち合わせた上、行事のねらいについて例年通り  
ではなく目的を大切にし、早め早めに保育者間で検討することを大切にし、確認をすすめた。

（保護者の評価 保護者の評価項目の対象外）

#### （学校関係者の評価 4点満点中 平均点 3.2 ）

- ・新園舎となり不慣れなこともあったと思うが、幼稚園運営はうまくいったと感じる。

教職員の皆さん、一年間お疲れ様でした。

.....➤.....➤.....➤

◆改善の具体的方策

